大名町教会NEWS

【ホームページ】http://www.daimyomachi-c.or.jp/　　発行責任者：中村 彰 神父
【ミサ時間】主日：7時・9時30分 ／ ベトナム語(第2・第4日曜日)：14時／ 英語：16時
〒810-0041　福岡県福岡市中央区大名2-7-7　TEL：092-741-3687　Fax：092-741-5107
【巡】カトリック能古島教会 ミサ(土) 18時　〒819-0012　福岡県福岡市西区能古弁当1621-12

福岡教区年間テーマ：ともに歩み　支えあっていく共同体

大名町教会年間テーマ：
すべての人にキリストの光でありなさい
Be the light of Christ to everyone

8月：聖母の被昇天（せいぼ　ひしょうてん）

キリスト教入門講座

- 指導司祭：中村神父
- 日時 お休み中 時 & 19時
- 場所：大名町教会 １F 講堂

聖書の分かち合い

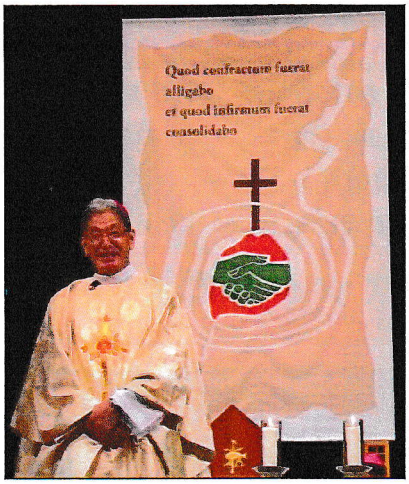
- 指導司祭：ルーカス神父
- 日時 お休み中
- 場所：大名町教会 １F 講堂

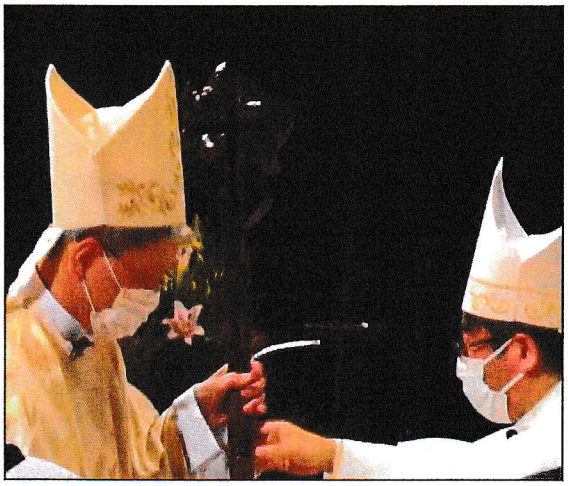
毎年、8月の厳しい残暑の中で日本人は広島や長崎へ心の巡礼をしています。1945年8月6日広島、9日長崎、この日の出来事は皆の心に消えがたい溝を付けてしまいました。今年も日本の社会はあの原爆の犠牲者を偲び、全世界へ平和のメッセージを送ります。原爆の真理を忘却の彼方へ押しやってはいけないからです。あの出来事は当時の日本人の体験だけではなく、全人類の遺産になったと思います。ですから今も、将来もその思い出を生かせるはずです。平和の祈りの週間についてのポスターを見たとき、爆撃されたマリア像の写真が目に入りました。原爆の火で焼かれた顔はあの苦しい時、その空の眼窩は原爆で消えてしまった全ての人について語っています。この被爆されたマリア、あの時の証人は広島と長崎の原爆の犠牲者の声となり、彼らの名によって良い意志や真心を持つ全ての人の方へ向けられた声であると思います。きっと、それは復讐を求める声ではありません。逆に、これは和睦や平和の声です。広島と長崎の原爆で亡くなられた人たちは人類の身代りになったのではないかと思います。今まで本当に、その犠牲は無駄になりませんでした。

ルーカス・レック神父

ゆるしの秘跡：通常、毎週土曜日の午前中。それ以外にも希望される方は司祭にご相談ください。

祝 おおいたきょうく もりやましんぞうしきょうさま たんじょう 大分教区 森山信三司教様 誕生





7月3日(日)J：COM ホルトホール大分にて森山信三神父様の司教叙階式が行われ、大名町教会からも１３名の方が参加しました。

↓参加者の声

大雨警報が出ていたにもかかわらず、晴天の当日。雙葉幼稚園シスター方の希望の星「信三ちゃん」は、神父様から司教様になられました。お祝い申し上げます。私どもは在学中、長年教頭で世界史を担当なさったお父様から「神様に正直であれ」「よきサマリア人となれ」と教えられていました。卒業後、同窓会の黙想会では，信三神父様から毎年聖書を習い、使徒たちが、「神のみ言葉」をどう伝えているのかわかりやすく教えて頂いていました。ローマでのお勉強中も、東京でのお仕事中も、真摯に前へ向かう新司教様。お選びになった聖句は、まさにぴったり。私どもは、今まで何度も助けていただき、お導きいただき、お役に立つ仕事に励むことができました。新しい大分の地で、いつもの大きく包みこんでくださるお心でお働きくださいませ。私どもは、子供を置いて帰る母の気持ちで福岡に戻りました。どこへ行っても、皆様に愛される新司教の叙階式に、各教会からの狭き門で参列できたことの感謝し、新司教様の新しいお働きに、お祈りでお支え致します。天国のお父様、シスター方、先生方が大喜びだと思います。おめでとうございます。　　(野山敬子)

司教館をマイクロバスで出発、お祈りの後、他の教会の方々と森山神父様の思い出の分かち合い、木々の緑に癒され、遠くに見ていた霧の中にバスは突入。心配しながらも、穏やかな日差しの中、会場到着。ステージ上はリハーサルの最中、その中で一際目を引き付けたのは中心に飾られた紋章、説明を見て優しい気持ちに包まれました。聖歌隊による入祭の歌に合わせて司教団が祭壇に上られ、中村倫明大司教様による司式で叙階式が始まり、新司教様が選ばれたヨハネによる福音「羊は良い羊飼いに導かれ、一つの群れになる」が朗読されました。叙階の儀、受階者の紹介、教皇大使による使徒座任命書の朗読、受階者の約束、諸聖人の連祷の後の司教様方の按手はとても熱くなりました。ミトラとバクルスの授与、黒い大きなバクルス、シャンパンゴールドの祭服をつけられた森山司教様のお姿はやさしさに包まれ、とても大きく見えました。感謝の典礼からは新司教様司式の歌ミサ、喜びと興奮のうちに閉祭、アレルヤ、すべての国よ神をたたえの大合唱でした。

森山司教様、よい羊飼いに導かれ、いくつもの霧の中に入られても、その先には必ず、優しい光に包まれる道がありますよね。子羊も道草はほどほどについていきます。

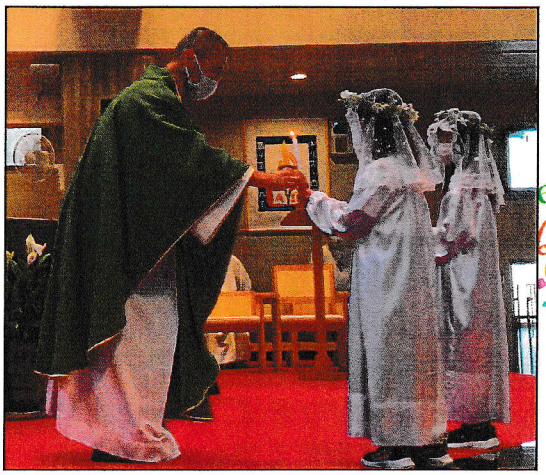
(川瀬節子)

森山司教様の叙階、教区長着座の知らせを聞いたときには本当にびっくりしました。どこでそんな事になったのか耳を疑いましたが自分のことのように喜びが込み上げてきました。昨年暮れ、東京に行った時、森山神父様に電話をかけたら、福岡を離れコロナ禍になり、福岡の信者さんとお会いする機会もなく、ぜひ会いましょうといわれ、派遣先の汐留にある中央協議会に参りました。7階建ての立派な建物の各部屋を自分の家のようにあっちこっち案内して頂きました。中央協議会は日本のカトリックの中枢機関です。典礼関連、カトリック新聞などの発行や日本の各協議会の本部があり、日本の司教団の中枢的場所となっています。そのときこれからのご自分の働きの場所としての思いを熱く語れたそのお姿に、この度の使命をその時の森山神父様に感じることはご本人にも思いのよらない出来事ではなかったのではと思います。福岡教区では2年前にアベイヤ司教様が着座されました。アベイヤ司教様はコロナ禍、各地を回り信徒、司祭団に耳を傾けられ社会に生きる教会の姿に思いを注がれ、そしてこれからの教会の希望、指針としての福岡教区「宣教司牧方針」を出されました。

森山司教様の大分教区着座も社会とともに生きる教会の新たなチャレンジャー、信徒と共に歩む良きリーダーとしての資質の吟味ゆえの大抜擢であるように思えて仕方ありません。これから近県同士手を取り合って教会の新たな希望へ向かってを共に歩みましょう。

人一倍家族を大切にされる森山信三司教様、95歳をすぎてまだまだお元気なお母さま本当におめでとうございます。そしてありがとうございます。　　（目良　豊）

初聖体（はつせいたい）：命（いのち）のパンをいただく



＜7月の現勢＞

【転入】

マリア	赤窄　恵美

【転出】

ヨゼフ	黒﨑　忠幸
マリア	黒﨑　ひろ子
マリア	長島　瞳
マリア	久家　愛
パドヴァのアントニオ	倉方　健作
ジュヌヴィエーヴ	倉方　葵花
ﾙｲｰｽﾞ・ﾄﾞ・ﾏﾘｱｯﾀ	倉片　紗良
ﾏｷｼﾐﾘｱﾉ・ｺﾙﾍﾞ	岩井原　潤

【初聖体】

スコラスチカ	豊嶋　清香
クララ	田村　文乃

★　7月の宣教司牧評議会　★

【検討事項】

1. 宣教司牧方針を受けて、共同体の目標について
   →各課題についてアンケートを実施し、その結果により目標設定を行う。
2. 信徒総会の結果を受けた対応について
   →①営繕費用の一本化：事務手続き上、非現実的、現状維持。
   ②長期営繕計画と必要予算の公表：過去の資料を基に終了工事、実施した資料を公表する。
   ③カテドラルの営繕費用：全ての工事を教区へ負担依頼は困難、少額については小教区負担。
   ④駐車場の経営：過去長期にわたり検討を取りやめた。
   ⑤テナントビル：小教区の問題外、教区の検討を待つ。
   ⑥小教区の資料保管場所：パウロ書院跡地の備品を活用。4階資料室を利用。
3. コロナ感染防止対策の見直しについて
   →7/3主日ミサ状況：2F 135名、3F 35名 計約170名。枠外駐車11台、整理など問題なし。
4. 典礼委員会
   →①8/15聖母被昇天の主日ミサ：9:30の1回のみ。
   ②ミサ典礼変更説明：9/11に練習、福岡コレジオ院長嘉松神父依頼。
   ③新典礼練習期間：10月30日～11月20日の4週間実施予定。
   ④朗読台カバー：白・紫・赤・緑の4色のカバーを設置予定、予算検討調査。
5. 高齢者からの維持費振込について
   →振込希望者は受付まで、管理把握のため個別に振込先を教える。
6. 経済問題に関する評議会の設置について
   →新組織設置は中村神父中心に人選、案については、評議会に諮る。
7. パウロ書院の活用について
   →教区より使用予定はなしの報告。平和旬間に合わせてカフェ・イベントなどを計画。
8. 宣教司牧評議会活動の協力依頼について
   →信徒総会にてお願いし、各部署への協力、人数を掲示中。希望者は受付まで。
9. 転入信徒の紹介及び情報提供について
   →紹介方法、教会内のガイドブックなどを次回検討。

～ ♪ 私たちは神の民、その牧場の群れ ♫ ～

その日暦は「苦言は薬なり，甘言は病なり」福音は、「私が求めるのは憐れみであって、いけにえではない」と。朝刊記事は、安倍元首相銃撃事件で、ある宗教団体に、母親が献金をしたことで人生崩壊、「救われる道」は事件しかなかったと容疑者の言葉。事件や事故が多発する中で、多くの人が病んでいるこの世。いけにえによる捧げものではなく弱き小さき者への憐れみだと教えるイエス、「声」の箱に、教会ニュース、新しい典礼、パウロ会跡地への共同体活性化への提言、そして、英語と日本語で綴られた子供の声、「プリーズ　チェンジ、西洋便器、仕掛けを取り除いてください」と利便性を求める日本社会の複雑多岐の姿、機器、組織等へのこれらの声、真の飢え、叫ぶ声を本当に私達共同体は聞こうとしているのでしょうか。「智に働けば角が立つ、情に掉させば流される、意地を通せば窮屈だ、とかくに人の世は住みにくい」と草枕の言葉、様々な考えを持つ人々の集まる教会共同体、「正義を行い、慈しみを愛し、へりくだって神とともに歩むこと、これが神が求めることである」とその日のみことばは私に語り掛けた。

フランシスコ・ザベリオ　濱崎公夫